

定例記者会見資料



○日 時	令和4年7月14日(木) 13時30分～
○会 場	島根県立大学 本部棟2階 特別応接室
○会見者	清原正義 理事長・学長
○会見項目	<p>【浜田キャンパス】</p> <p>・故 井上厚史先生を偲ぶ会について [資料1]</p> <p>・大学生が耕作放棄地でつくった有機作物を保育園に [資料2]</p>
○資料提供項目	
○行事予定	令和4年度第1回博士論文公開審査会の開催について [資料3]
○その他	新型コロナウイルスの対応について [資料4]

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。
なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 企画調整課 TEL 0855-24-2201
出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200
松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525

島根県立大学
マスコット
キャラクター
オロリン



※次回の定例記者会見は 令和4年9月8日(木) 13:30 から開催予定です。

資料 1

令和4年7月14日

島根県立大学事務局総務課

担当：八川・松井

電話；0855-24-2200

「島根県立大学元副学長 故 井上厚史先生を偲ぶ会」の開催について

■実施概要

- 1.日 時：令和4年7月16日（土）13：30～15：00（開場13：00）
- 2.会 場：島根県立大学浜田キャンパス 講堂（島根県浜田市野原町2344-2）
- 3.主 催：島根県立大学、島根県立大学短期大学部
- 4.共 催：島根県立大学浜田キャンパス同窓会、島根県立大学浜田キャンパス学友会
- 5.次 第：
 - （1） 黙 禱
 - （2） 開会のことば
 - （3） 故人を紹介
 - （4） 主催者あいさつ
 - （5） 故人との思い出を語る
 - （6） 弔電奉読
 - （7） 遺族ごあいさつ
 - （8） 閉会のことば
 - （9） 参列者献花（流れ解散）

※会場では新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数制限（200名以内）を設けています。当日は、事前の申込みの連絡がなくても参加できますが、人数制限を超えた場合は入場をお断りすることがあります。

※島根県内での新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえて、YouTube によるライブ配信を行います。二次元コードからご視聴ください。



※当日は平服でお願いします。

※香典・供花・供物をご辞退いたします。

《島根県立大学ホームページ》

<https://www.u-shimane.ac.jp/>

《担当窓口》

事務局総務課 電話：0855-24-2200 mail：soumu@u-shimane.ac.jp

令和 4 年 7 月 14 日
島根県立大学 地域政策学部
准教授 豊田知世
電話：0855-24-2263

大学生が栽培した野菜の贈呈式について

■概要

- ・ 行事名 大学生が栽培した野菜の贈呈式
- ・ 開催日 2022 年 7 月 20 日（水） 午前中（調整中）
- ・ 会場 聖バルナバ保育園 島根県浜田市浅井町 2 6 0
- ・ 参加予定者 保育園児 10 名、大学生 3 名、中山農園 2 名

■これまでの経緯

島根県立大学豊田ゼミでは環境に関するテーマに取り組んでいますが、その中の一つに「耕作放棄地を活用した環境配慮型の農業の実践」があります。国内外の農業政策として有機農業が推進される中、実践的な活動を通じた学習を目的に、2020 年度から浜田市後野の耕作放棄地にて、有機農業の栽培を行っています。

畑は、浜田市内で養蜂業を営む株式会社中山農園が所有する畑を利用しています。株式会社中山農園の社長である中山正さんを講師としてお招きし、教科書を読みながら、不耕起栽培（作物の刈り株や草などの作物残渣を田畑の表面に残した状態で次の作物を栽培する方法）を基本とする有機農業を始めています。

初年度の 2020 年は土づくりを行い、2021 年度は作物を作りましたが成長しない作物も多かったです。2022 年度も作物を作っていましたが、良い作物ができ始めたため、この作物を保育園に提供する予定です。

なお、協力いただいている中山農園には、2021 年度卒業生の森原千尋さんが 2022 年度から農業研修生として働いています。森原さんは、在学時に本プロジェクトに参加しており、現在はゼミ生にも指導しています。



活動のようす



収穫した野菜

有機農業プロジェクト

【資料2-2】



豊田ゼミ 7/14

有機栽培（有機農業） どんなイメージ??



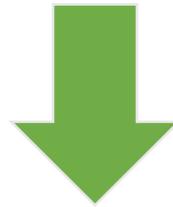
有機JASマーク

- 無農薬？
- 健康に良い？

それ、間違いです！！

有機農業とは

- 化学合成された農薬や肥料を使用しない
- 遺伝子組み換え技術を利用しない



農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減した農業生産の方法を用いて行われる農業

化学農業とは

• 化学合成された農薬や肥料とは

- 空気中の窒素や鉬物などの無機物を原料とした肥料 → **即効性**が高く、微生物などの影響を受けずに**植物に吸収されやすい**。

• 遺伝子組み換え技術とは

- 種子の遺伝子に「病気に強い」「特定の除草剤で枯れない」などの特性を持った遺伝子を付与する。 → **大量生産が容易になる**。

有機農業でも肥料や農薬は使う

窒素や鉍物などの無機物を使用する化学肥料・農薬に対して、有機農業では**植物性**や**動物性**の**有機物**を原料とする。

バーク堆肥



牛ふん

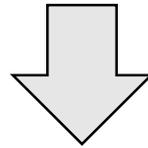


もみがらくん炭



なぜ、有機農業が注目されているのか

従来の農法（化学肥料・農薬を使用する農法）では環境への負荷が大きい。

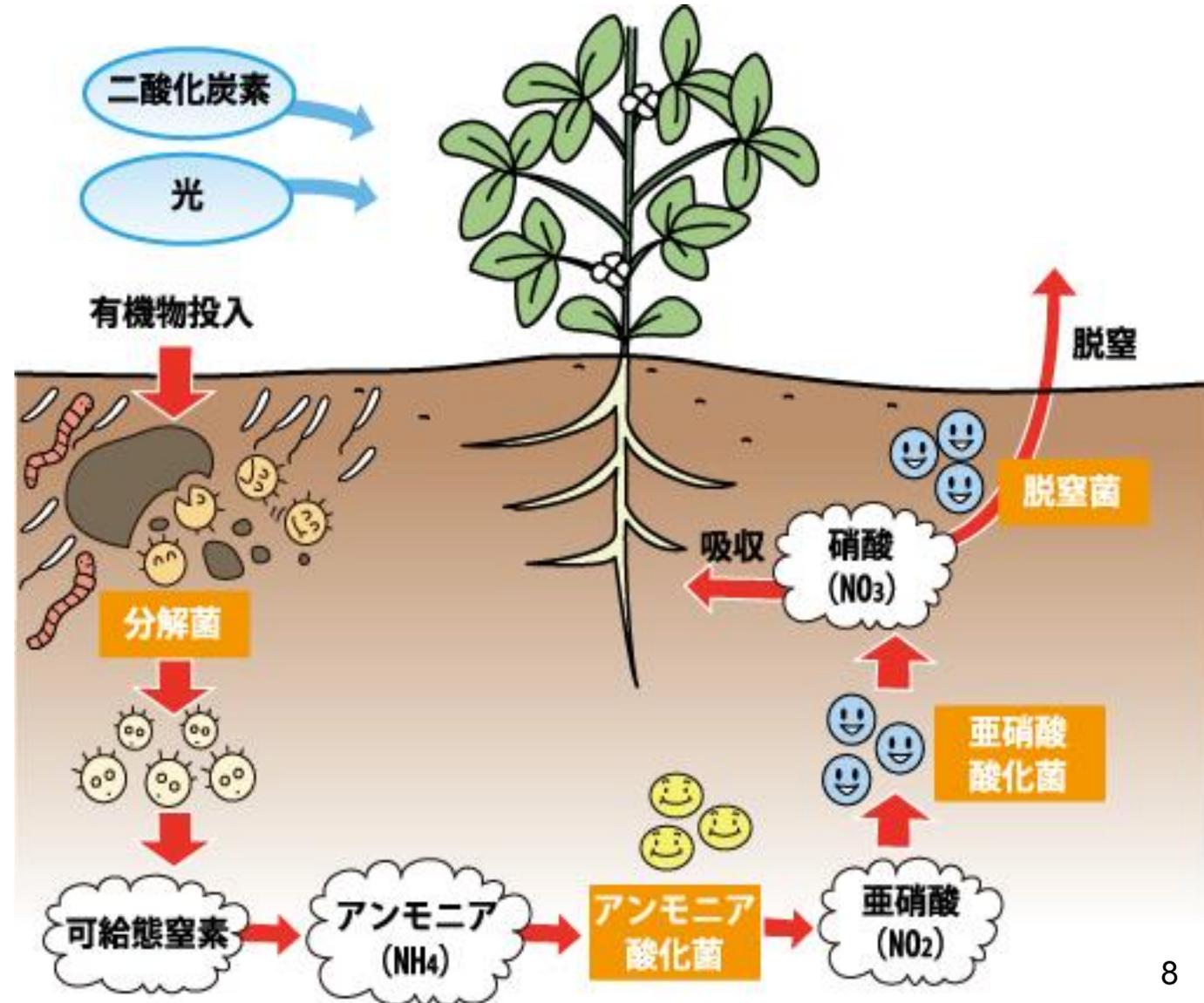


持続可能な社会を目指して

有機肥料で野菜が育つ仕組み

1. 有機肥料を投入
2. 土中の虫や微生物が、時間をかけてこれを分解
3. 微生物が増殖と死滅を繰り返す
4. 死滅した微生物を別の微生物が分解
5. 最終的にはアンモニアや硝酸などの無機態窒素になる
6. 植物がこの窒素を吸収
7. 吸収されなかった窒素成分が、微生物によって脱窒される

参考：YANMAR

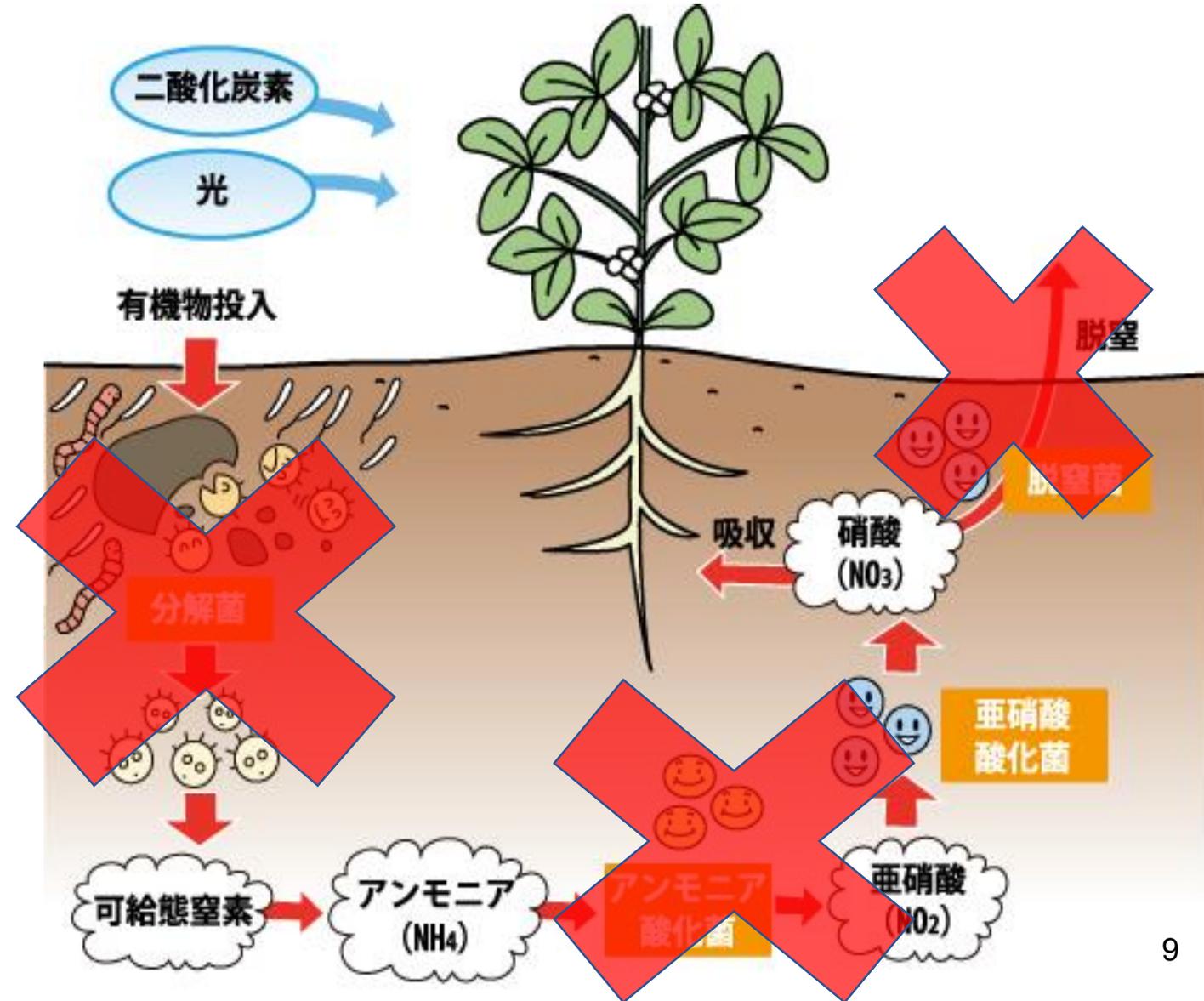


化学肥料で野菜が育つ仕組み

1. 化学肥料（窒素原料）を投入
2. 植物に直接吸収される

↓
過剰投与（長期的に投与）した場合

- 微生物が死滅する
- 土中の栄養素が激減
- 保水機能の低下
- 吸収しきれなかった肥料成分が、土中に蓄積する
- 雨などにより土が川に流れると、土中に含まれている窒素成分が水質を汚染する



豊田ゼミ 有機農業プロジェクトについて

環境経済学のゼミ

環境問題を経済学あるいは政治経済学の方法を用いて分析する学問。

有機農作物が、人々の経済活動にどれほどの影響を与えるのかを実践的調査（有機農業）する。

金城にある耕作放棄地を畑に改良



金城にある耕作放棄地を畑に改良



金城にある耕作放棄地を畑に改良



2021年11月1日

金城にある耕作放棄地を畑に改良



現在

育てている（収穫した）野菜たち



タマネギ



ダイコン



ジャガイモ

有機農業プロジェクト 今後の活動

- **有機農業（継続）**
- **有機農業についての勉強（継続）**
- **収穫した野菜の販路開拓（新規）**

まとめ

- 有機農業は環境への負荷を考慮して、現在推進されている農法である。
- 化学農薬が絶対的に悪ではない。健康への害についてはいくつかの事例（ブルーベイベーなど）があるが、毒であるかどうかは摂取量による。有機肥料も過剰に使用すると毒になる。

参考文献

- ・農林水産省「有機農業推進法」
(2022/07/10 アクセス)
<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/yuuki/index.html>
- ・YANMER「有機農業を科学する|深掘！土づくり考」
(2022/07/10 アクセス)
https://www.yanmar.com/jp/agri/agri_plus/soil/articles/01.html
- ・JCPA農薬工業会「農薬は体に悪い？」
(2022/07/10 アクセス)
https://www.jcpa.or.jp/qa/a1_02.html
- ・有機農業参入促進協議会「化学肥料はなぜいけないのか」
(2022/07/10 アクセス)
<https://yuki-hajimeru.net/?p=1048>
- ・SMART AGTI「『遺伝子組み換え』の安全性とは？なぜ賛否両論が巻き起こるのか」
(2018/12/05)
<https://smartagri-jp.com/management/114>
- ・カモンサポート「脱窒について」
(2022/07/10 アクセス)
<https://kamon-support.com/index.php?FrontPage>
- ・コトバンク「環境経済学」
(2022/07/10 アクセス)
<https://kotobank.jp/word/%E7%92%B0%E5%A2%83%E7%B5%8C%E6%B8%88%E5%AD%A6-236564>

2022年7月14日(木)
 島根県立大学浜田キャンパス
 担当：学務課教務係 小田原、志田尾
 電話：0855-24-2213

2022年度

第1回 北東アジア開発研究科博士後期課程 学位論文公開審査会の実施について

島根県立大学大学院北東アジア開発研究科では、下記のとおり公開型の学位論文審査会を開催します。この審査会は、本学大学院北東アジア開発研究科博士後期課程に在籍する大学院生から提出のあった博士論文を審査するものです。審査会は事前申し込み不要で、どなたでもご参加いただけます。

記

- 日 時 2022年8月10日(水) 11:00～12:00 (10:30 からご入場いただけます)
- 発表者 大学院北東アジア開発研究科博士後期課程3年
李 奎 (リ ケイ) 出身国：中国
- 論文題目 中国における産業構造転換と経済成長との相互影響に関する研究
－河南省を中心に－
- 会 場 島根県立大学 中講義室3
- その他 会場においてレジュメを配布します。



【過去の公開審査会の様子】

【参考：本学大学院における過去の博士の学位授与状況】

氏名	学位授与年月	論文題目
温都日娜	H18.3	多民族混住地域における民族意識の再創造 －モンゴル族と漢族の族際婚姻に関する社会学的研究
Usmanova, Larisa. R. (ウスマノヴァ・ラリサ)	H18.9	An Historical Account to the process of changing Türk-Tatar Diaspora Consciousness in North East Asia between 1898 and the 1950s
張 紹鐸	H19.3	国連中国代表権問題をめぐる国際関係 (1961-1971年)
柳 小正	H20.10	中国のエネルギー問題に関する社会科学的分析－石油政策を中心に－
寺田 哲志	H21.3	持続可能な水資源利用のための統合型水資源管理の有効性
趙 曉紅	H21.9	「満州国」における医療・衛生事業の展開とその特徴
白薩日娜	H25.10	中国の識別された民族 (minzu) のアイデンティティに関する社会学的研究 －東北地方の達斡爾民族 (minzu) を事例に
玉置 悦子	H26.11	市場メカニズムを利用した食品安全政策の研究 －わが国の HACCP 認証制度を事例とする実証分析－
烏日麗格	H27.9	政治体制移行期前後のモンゴル国都市家族の変容
趙 冰	H28.3	中国都市部における高齢者サービスについての研究 －地域社会における共助の視点から－
崔 穎麗	H30.9	朝鮮民主主義人民共和国の「主体思想」に関する研究
李 韵	H30.9	A Study of the Role of New Media in Market: a Case Study of Chinese Real Estate Market
孫 萌	H31.3	中国の財政移転制度の展開に関する研究

令和4年7月11日

新型コロナウイルス感染確認状況について

公立大学法人島根県立大学

令和4年7月4日～7月10日の期間において、本学関係者37名が新型コロナウイルス検査において陽性と判定されました。また、次のとおり集団感染事例が確認されました。

感染が確認された方々の早期の快復を願うとともに、感染者やそのご家族など人権の尊重・個人情報保護にご理解とご配慮をお願いいたします。

本件に関し、濃厚接触者は保健所の指導を受けて自宅待機としています。

引き続き、学内外の感染拡大防止に努めてまいります。

集団感染事例（課外活動）3件 計25名

※ 公表人数には島根県外で計上された陽性者を含みます。